



学校通信

夕陽丘

第60号



【令和4年度 学校教育自己診断】

学校生活をより充実したものとするため、生徒・保護者・教職員に対して、学校教育活動や取り組みに関するアンケートを10月末から11月にかけて実施しました。今年も保護者の方から Google フォームで回答いただき、616名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。昨年度より回答数は上回りましたが、一昨年度までの回答数と比べるとやや少ないためアンケート回答方法を検討したいと考えています。

◎生徒に対する質問では、「友達関係がうまくいっている（94.2）」「学校行事は充実していて楽しい（95.3）」「学校は部活動に積極的に取り組んでいる（94.3）」などの肯定的回答が高くなっています。また今年度より新たな質問「学校は生徒1人1台端末を活用している。（89.1）」が追加されました。Chromebook を活用した学習が定着しています。

◎保護者に対する質問でも、「友達関係」「学校行事」「部活動が活発」などの質問に対する肯定的回答が90%を超えています。また「他の学校にない特色がある」という質問の肯定的回答も90%を超えており、行事等の参加など学校への関心を高く持っていただいているように思います。

◎教職員の回答結果では、「生徒が意欲を持って授業を受けるよう教え方に様々な工夫をしている」という質問に対して肯定的回答が96.1%でした。また「この学校には、他の学校にない特色がある。」の肯定的回答が98%でした。授業の工夫・改善を継続的に行うなど学校の更なる発展をめざし、生徒、保護者、教職員が一つとなり魅力ある学校を作っていきたいと考えています。

令和4年度学校教育自己診断 肯定的回答率の高い質問

	質問項目	4年度	3年度
生徒	学校行事では学校全体で協力して取り組んでいる。	96.7	97.5
	学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。	95.1	96.3
	学校行事は充実していて楽しい。	94.3	96.6
	学校での友達関係はうまくいっている。	94.2	95.6
保護者	体育祭や文化祭などの学校行事は活発に行われている	98.7	96.2
	部活動は、活発に行われている。	94.0	92.1
	学校での友達関係はうまくいっている。	92.7	93.9
教職員	この学校には他の学校にない特色がある	98.0	97.1
	教育相談体制が整備されており、生徒はクラス担任以外の教職員とも相談することができる。	96.1	88.5
	生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている。	96.1	100

【第三学年】

『まっすぐに』

3年主任 杉田 伊知子

高校生活もあと残り少しとなりました。皆さんはこの冬をどう過ごしますか？学校通信を読んでもらった皆さんにぜひ考える機会を作ってほしいと思いました。3年生の多くはこれから受験を控えている人が多いです。この高校生活1ヶ月を大切に、決して諦めず最後までチャレンジしてください。先が見えず苦しい時もありますが、この1ヶ月こそ実力が伸びるチャンスです。いつも通り登校し授業を受け、友だちと何気ない会話をし、普段通りの生活で過ごしましょう。その繰り返しが一番大切なことです。そして最後まで思いを貫き、妥協せず励んでください。一方で進路が決まっている人は結果に安住することなく、高校での学習を継続してください。多くの方が将来就職を希望していると思います。高校・大学に行ったことではなく、何をしたか、何を頑張ったのかを問われると思います。人生のゴールはまだまだ先のはず。高校生活もあとわずかとなりますが、自分のできることをやるべきことを一途に思い、成し遂げられるよう努力し続けて下さい。

思えば右も左もわからないまま高校に入学し、また年度の途中から授業が開始という状況からスタートした学年です。皆さんと日々過ごしながら思うことですが、「成長したなあ」と感じる瞬間があります。まだ終わりではありません。成長を感じる瞬間をもっと感じさせてください。最後になりますが、竹中郁さんの「竹のように」という詩を紹介します。季節は違った詩ですが、どんな時でもまっすぐな人であることを願っています。

『のびろ のびろ まっすぐ のびろ
こどもたちよ 竹のように のびろ

風をうけて さらさらと鳴れよ
日をうけて きらきらと光れよ

雨をうけたら じっとしてろ
雪がつもれば いっそうこらえろ
石をなげつけられたら かちんとひびけ

ぐんぐん 根をはれ
土の中で その手とその手を
がんじがらめににぎりあえ
竹 竹 竹 竹のように

のびろ
五月のみどりよ もえあがれ』

【第二学年】

「ことばに会う3（『スイミー』を覚えているか）」

2年学年主任 蔵戸 晋悟

『スイミー』を覚えていますか。小学校二年生で学ぶ教材です。翻訳者は誰だったっけ？そう、谷川俊太郎さんです。

そんな谷川俊太郎さんの詩には稀代の名作がずらり並んでいます。『サッカーによせて』も、そんな名作の一つ。

く けつとばされてきたものは

けり返せばいいのだ

泥にまみれろ

汗にまみれろ

そこにしか

憎しみが愛へと変わる奇跡はない

けつとばされてきたものは

力いっぱいけり返せ

>

※一部省略

この詩を思うと、ワールドカップサッカー日本代表の快進撃と重なって、心がすっきりします。そしてコロナをはじめとして、色々な困難が高校生にはやってきます。それを『蹴っ飛ばす』のは、なんとも痛快です。

ワールドカップと言えば、ロベルトバジジョという選手の言葉を思い出します。94年ワールドカップ決勝。5人目として登場したイタリアのエースだったバジジョ選手がPKを外し、優勝を逃します。そのとき、彼はこんな言葉を残しました。

<PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気を持ったものだけだ。>

失敗したことではなく、挑戦した自分を奮い立たせる、素晴らしいことばだと思います。

さあ夕陽の若人よ。大きく空振りしても良い、勇気を持って、けつとばされてきたものを、力いっぱいけり返せ！

【第一学年】

77期生近況報告

1年学年主任 川崎 智郎

中庭のメタセコイヤも赤茶色に紅葉し、細かな落ち葉が地面にうっすらと積もっています。早いもので77期生が入学して8か月が過ぎました。生徒の皆さんは、各教科から出される日々の課題に追われながらも、部活動や行事、クラスの仲間との交流など、高校生活を楽しんでいるように思えます。学校生活自己診断アンケートにおいても90%の人が学校は楽しいと答えています。8月末から仲間に加わった4名の留学生ともすっかり親しくなりました。

また、この間には「文化祭」「大学ツアー」「夕陽丘フィールドワーク」などの大きな行事が行われました。まず、「文化祭」では、演劇や教室でのイベントに取り組みました。それぞれの発表にはきらりと光る工夫とアイデアが見られ、来年それらがグレードアップされた姿が見られることが楽しみです。次に、11月に貸し切りバスで訪れた「大学ツアー」では、4大学6キャンパスに分かれ、説明を聞いたり構内の見学をしたりしました。大学生の姿や立派な設備を見て、進学への意識がさらに高まった事と思います。「夕陽丘フィールドワーク」は、平素の夕陽学で行っている探究活動の一環として、探究活動の班に分かれて、校外にでて調査や聞き取りをしました。今、夕陽学の時間で、そこで得られた成果を利用して、1月に行う発表会に向けての準備を進めています。

さて、学習面においては、生徒の皆さんは前向きな態度で授業に参加しており、考査前は、先生に質問したり自習室や教室に残って勉強したりするなど熱心な姿勢が見られます。ただ、平素の学習をもう少し充実させるともっとよくなると思います。授業においては、興味関心を持つと努力も怠らず、学び取ろうという気持ちが大切です。家庭学習においては、まず時間を確保して、授業のおさらいだけでは無く、分かりにくかった箇所を分かるまでじっくり考えたり調べたりする事に取り組んで欲しいと思います。

今後の予定ですが、冬休みが明けると「文理選択の本調査」があります。予備調査の段階では文系希望196名、理系希望117名でした。迷いのある人は、現在の成績やテストの点数だけで判断せず「将来自分はどうなりたいのか」という最初の問いかけに戻って、自分と向き合い答えを出してください。先生はいつでも相談に乗りますので、遠慮なく申し出てください。

年が明けると、授業のある日は2か月もありません。この短い期間は1年間のまとめの時期です。その間に、球技大会、スピーチコンテスト、夕陽学の発表会、百人一首大会、模試などの行事も予定されており、ぼんやりしているとあっという間に学年末が訪れます。今一度、地に足をつけて、平素の当たり前の1日1日をしっかり過ごしてください。学年末には「この一年でこれはできた、これだけ成長した」と言える事が一つでも多くなるようになってください。これから迎える冬本番の季節を、コロナやインフルエンザへの感染対策をしながら、しっかり健康管理をして、休まず登校できるように健やかに過ごしてください。

【進路指導部】

令和4年度（2022年度）

学校推薦型・総合型選抜等実合格者数集計（大学等・12/16現在判明分）

進路指導部主任 飯田 和大

大学	合格者数	昨年度
大阪教育大学	1(1)	2(2)
防衛大学校	1(1)	0(0)
同志社大学	3(3)	3(3)
立命館大学	1(1)	1(1)
関西学院大学	6(6)	6(6)
関西大学	12(12)	10(10)
近畿大学	24(67)	30(71)
京都産業大学	2(4)	4(7)
龍谷大学	10(34)	10(18)
京都女子大学	2(2)	4(4)
同志社女子大学	11(16)	11(15)
武庫川女子大学	8(19)	11(19)
関西外国語大学	10(20)	10(18)
京都外国語大学	4(9)	0(0)
畿央大学	10(20)	11(17)
摂南大学	11(32)	22(67)
神戸学院大学	1(4)	1(1)
追手門学院大学	10(31)	5(10)
大和大学	8(22)	4(4)
大阪工業大学	2(4)	6(11)
大阪経済大学	2(6)	0(0)
大阪音楽大学	2(2)	2(2)
大阪医科薬科大学	1(1)	4(4)
森ノ宮医療大学	2(2)	2(3)
四天王寺大学	3(6)	0(0)

短大	合格者数
白鳳短期大学	1

専門学校	合格者数
大阪医療センター附属看護学校	1
大阪警察病院看護専門学校	2
大阪府病院協会看護専門学校	1
日本歯科学院	1
大阪医専	1
関西美容専門学校	1

* 各学校別の合格者数は現役の実合格者数（ ）内は延べ合格者数（浪人含む）

【今年度の学校推薦型、総合型選抜について】

昨年、学校推薦型・総合型選抜を受験する生徒が増え、年内の選抜における重要性は上がっている。その中で、75期生はコツコツと努力を続け、秋の選抜では健闘しました。年が明け、いよいよ本番！大学入学共通テスト・一般選抜が始まります。高い目標に向かう3年生のみなさん、体調に気をつけて入試本番で自分の実力を発揮してください。みなさんを応援しています！最後までがんばれ、75期生！！

【自治会】

最大限の努力で、最高の文化祭を！

自治会主任 福島 たえ

～文化祭を開催して～

今年の文化祭は2年ぶりに2日目のみご家族の方にご来場頂いての開催となりました。依然コロナウィルスの感染拡大が懸念されるなか、“何とかお客さんを入れての開催ができないか”と考え、来場人数を限って開催するという結論に至りました。中学生や地域の方々にご来場頂けなかったことは大変残念でしたが、コロナ禍での大きな一歩を踏み出しました。

そして迎えた当日。やはりお客さんに来て頂いての文化祭は大変活気がありました！予想を上回る来場者に、あっという間に参加賞や景品がなくなってしまったという模擬店も多くありました。また3年生は、自分たちで調理をする食品バザーを行うことはできませんでしたが、趣向を凝らしたカフェや模擬店で文化祭を盛り上げてくれました！そしてステージ発表やクラブの発表、展示等も多くの方に見て頂くことができ、充実した2日間となりました。

2日間の文化祭を終えてClassi アンケートにはたくさんの嬉しい感想や、自治会への感謝の言葉が記されていました。みなさんにとって素敵な思い出ができたのなら、私たち自治会も幸せです。

～令和4年度後期自治会執行部発足～

新しいメンバーを迎え、2年生8名、1年生12名で後期自治会執行部がスタートしました。後期は学年行事での企画・運営をはじめ、学校説明会での発表やウィンターフェスティバルなど、学校の枠を超えて中学生や地域のみなさんに夕陽丘の魅力を発信する機会が多くあります。後期も会長を筆頭に“夕陽丘を盛り上げたい！夕陽丘のみんなの力になりたい！”という意欲的なメンバーがそろっています。寒い季節がやってきましたが、後期も自治会がみなさんに元気をお届けします。

～ウィンターフェスティバル開催～

12月16日(金)よりウィンターフェスティバルを開催しています。今年もイルミネーションを見てみなさんの心が少しでも温かくなってくれたら嬉しいです。今年は職員玄関前に撮影スポットを用意しています。お楽しみください☆



【国際交流委員会】

国際交流委員長 矢倉 恭子

夕陽丘高校では、グローバル人材の育成を教育目標の1つに掲げ、様々な国際交流活動を行っています。保護者の皆様には、日頃から本校の国際交流活動に対するご理解ご支援を賜り感謝申し上げます。

今年度は、夏休み以降に新たに6名の留学生（タイ・イタリア・ドイツ・フランス・パキスタン・アメリカ）を受け入れています。

また、今年度も引き続き中国とのオンライン交流を10月に実施しました。

生徒の皆さんには、留学生との交流やオンライン交流を通じて、文化や価値観の違いを体験し、幅広い視野を持つ人に成長してほしいと願っています。

【音楽科】

音楽科長 山本 伸子

音楽科より

音楽科では、今年も充実した特別公開講座を実施することができました。

●7月 音楽プロデューサー 高田耕至氏《2つの車輪》講座

現役の音楽プロデューサーをしながら大阪芸術大学で教鞭をとる高田氏による、音楽を職業にするために知っておくべきことを、著作権などを例に教えていただきました。

●9月 指揮者 山田和樹氏《高校生に伝えたいこと》

世界的な指揮者である山田氏の高校生時代のお話から、音楽を学ぶ高校生に限らず、現代を生きる高校生へ、人生観・音楽観が揺り動かされるインパクトのあるお話を聞くことができました。

●10月 テノール 笛田博昭氏《テノールの魅力》

笛田氏は今年の NHK ニューイヤーオペラコンサートにも出演予定の日本を代表するテノール歌手です。魅力的なテノールの調べに酔いしれ、その後には高校生時代からの音楽との向き合い方などを講話いただきました。

●札幌交響楽団 コンサートマスター田島高宏氏

ヴァイオリンのミニコンサートに加えて、コンサートマスターの役割としてどのような仕事をしているのか、実際に音楽科の弦楽アンサンブルの中に入って一緒に演奏する実践を通して学びました。

●12月 ピアニスト 務川慧悟氏

「らららクラシック」にも出演するなど、数々の国内外のコンクール受賞を果たし、今を時めくピアニストによるミニコンサートと講話。繊細に演奏されるピアノの音色の美しさに会場の生徒たちは息を呑むような瞬間ばかり。質問に答える形での講話では、具体的な生徒の悩みや質問に丁寧に答えてくださり、何事にも真剣に向き合う時のヒントになる講話でした。

【これからの音楽科行事】

12月10日 大阪中央公会堂でエイズ啓発ジャズフェスティバルに音楽科有志がソロやアンサンブルで出演。

12月22日 14:00-ピッコロコンチェルティスタ 学内演奏会（ヴィオーラホール）

12月25日 11:30-12:00 JR大阪駅「時空の広場」にて合唱専攻生有志約40名がコーラスを披露します。入場券や事前予約は一切ありません。ぜひ応援に聴きにきてください。

1月20日 16:00-特別公開講座（ウィーン音楽研修事前学習）講話（Zoom形式による）
「卒業生千竈さちこ氏によるウィーンの音楽事情」

1月28日 音楽科3年生演奏会 10:30～(予定)

3月22日 ウィーン音楽研修旅行（～31日）